



鳥取県東部中小企業青年中央会

おおぞら OZORA

- 発行人 西根 伸吾 (平成21年度・会長)
- 編集責任者 茶谷 友士 (資産形成委員会委員長)
- 編集委員会 資産形成委員会

- 細 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。
- 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL:www.tsc21.gr.jp E-mail:tsc@tsc21.gr.jp



会長あいさつ

『皆さんこんばんは!!』で始まる東部青年中央会ですが今年度ももう4ヶ月目に突入してしまいました。まだまだ先の見えない不況の中ですが青年中央会の会員の企業は業績が上がっていきけるような『会』作りをしていきたいと思っております。

会社の経営者・幹部が一番しないといけない社会貢献は(雇用・納税・消費・教育等)だと思っております。会社が儲かれば税金を払いますし、会社が拡大すれば雇用も増えますし、儲かり企業の社員は給料も増えてその社員達もドンドン消費をおこしていきます。それが社会貢献になっていくと私は思っております。それでは何が一番必要なのかと考えるとやはり自分達経営者・幹部のスキルUPをしていく、そして社員達に教育をさせる能力等が必要になっていくと思っております。

● 会長 西根 伸吾

そしてもっと県外・海外等に目を向けていく事が必要なんじゃないかなと思います。鳥取県の人口は約60万人、日本で一番小さなマーケットで情報量も少ない中、悪戦苦闘している企業が多いのではと推測できます。日本の中心は東京、西日本の中心は大阪、中国地方の中心は広島のように、そういう所に挑戦してネットワークを広げていくことが大事なんじゃないかと思っております。そうすると意外と儲かりネタが拾えるし、鳥取でもうけないといけないというルールもないし、逆にいえば例え話ですが車屋さんが車だけで儲けないといけないとか米屋さんが米だけで儲けないといけない事は無いということに気づいて欲しいです。自分の中で垣根を取る事が大事だと思います。

今年度のテーマ『経営力を磨け』ですが本当に各委員会が徹底的に経営力のつく勉強をしていって委員会活動を頑張っているなあと思っております。でも、勉強ばかりではつまらない場合もあるので今年度は2次会を徹底的に盛り上げてそこで友人ができ、一緒にバカをやったり、一緒にツライ事をしたり一緒に盛り上がった時、時には一緒に夢を語り合ったりしたときに『武勇伝』ができ、生涯忘れられない思い出になっていくのではないかと私は確信しておりますので学ぶときは学び、ダラズになるときはダラズになる!!そんな東部青年中央会になればと思っております。

平成21年度通常総会・創立35周年記念式典を終えて

7月例会

35周年実行委員会 実行委員長 川口 孝治

平成21年7月16日(木)、ホテルニューオータニ鳥取「鳳凰の間」におきまして平成21年度通常総会が開催され、また「鶴の間」におきまして来賓・OBの皆様にご多額ご臨席賜り創立35周年記念式典が盛大に開催されました。



約2年前に発足しました35周年検討委員会では記念式典の趣旨を議論し、そして約1年前に発足しました35周年実行委員会では記念式典の内容をより意義あるものにする為の議論を重ねて参りました。

当会が創立してから10年毎に開催されてきた記念式典を初めて5年で区切り開催することになった経緯は、価値観が多様化し様々な分野で従来の考え方や手法が短期間で通用しなくなると実感する機会が増えてきたことも大きな理由の一つではないかと思っております。そう考えますと、10年毎に総括していたことを5年毎に短縮し総括することは、時代の要請であったのかもしれない。

30周年を機に鳥取県中小企業青年中央会として掲げました『時代に挑み、次代を創る。』というキャッチフレーズを軸に活動してきた5年間を、「35年のあゆみ」と題したDVDという形で来賓・OBの皆様にご覧頂き、その成果を理解して頂く大変よい機会となりました。

すべてのプログラムをほぼ時間通りに終えることができ、また祝賀会では余興等の企画を省き、来賓・OBの皆様との交流を重視した内容にしましたが、会場の至る所で歓談の輪ができて盛会のうちに閉宴を迎えることができたのも、会員の皆様を始めとし、役員の皆様、そして実行委員の皆様が35年間の歴史と伝統に感謝し、おもてなしの心でホスト役に徹して頂いた賜物であると感謝致しております。

最後になりますが、この35周年記念式典開催の経験が40周年に向けた一里塚となり、東部青年中央会会員としての矜持を今まで以上にしっかりと持つことができるようになったと感じて頂ければ幸いです。

資産形成委員会

9月例会

委員長 茶谷 友士

講師
に「ディー・ブレイン証券」代表取締役社長 出縄良人氏を東京からお招きし、「不況時における中小企業の資金調達法」というテーマでご講演頂きました。



資金調達には、銀行が預金者のお金から融資する「間接金融」と会社が株式や社債を発行して、投資家に資金を提供してもらう「直接金融」があることを学びました。

そして直接金融の手段の1つとして「グリーンシート」という株式公開をし、株式の売買を目的とする市場ではなく、株式の長期保有を目的とする株主を探す市場をご紹介頂きました。出縄様はご自身の生い立ち、会社設立に至る経緯などを交え、とても丁寧に分かりやすくご説明頂きました。

また、ご都合上予定していた翌日の企業訪問が中止となりましたが、ご好意で、後日再び鳥取においでになり、各企業でご説明をなさる姿を拝見しましたが、とても人情あふれる、責任感の強い方だと強く感じました。西根会長年度最初の手作り例会は、大きな失敗もなく成功だったといえるのではないのでしょうか。出縄様、団体中央会、資産形成委員会のメンバー、会員の一人ひとりに大変お世話になりました。本当に感謝しております。ありがとうございました。

第9回 親子ふれあい 新!海物語

夏の思い出2009

家族・満喫・笑顔でGO!GO!~



第9回 親子ふれあい家族例会を終えて

実行委員長 井崎 行博

去る8月2日昨年同様、海にて『第9回親子ふれあい家族例会』を開催しました。今年度は東浜海水浴場から小沢見海水浴場に場所をかえての開催でした。昨年の反省点を踏まえ少しでも改善出来ればとの思いで会場を探し、浜辺の占有・駐車上の確保(40~45台)市内に近いこと、そして今年の目玉ジェットの利用OKで会場を決めました。

今年度の親子ふれあい家族例会は完全内向け現役会員のみ、若い会員さんも増えてきたことを踏まえて恋人の参加もOK、2年目ということもあり、子供さんの参加も多数お見かけしました。サブ・テーマの新!海物語 家族・満喫・笑顔で GO!GO!テーマの如く会場を替え家族・恋人の参加も増え、皆さんが、笑顔で満喫した良い親子ふれあい例会だと思います。

当日はあいにくの天候でしたが、会員・会員家族・恋人と総勢142名での開催でした。

天候不順にもかかわらず、会員・家族の顔が増えてくると、ほっとし、早く準備しなければと思い足早に準備を進め10分遅れの開会式でスタートしました。

肌寒いせいか、目玉のジェットに乗る人が少なく残念な結果で終わってしまいましたがご協力頂いた平井直前会長・石野石材のお二方そして、直前にジェットを購入して参入された担当副会長長島越さん、みなさんの熱い思いに感謝しています。

その他のイベントとしては、バーベキューは皆さん手馴れた段取りでお肉をほお張り、物凄く美味しそうでした。ビーチバレーは、昨年同様大盛り上がり今年は女性の参加が増えて一段と良かったです。次年度はもっと家族参加出来るイベントが増えれば益々盛り上がるイベントになるのでは。

最後に大勢の会員・家族・恋人に参加頂いた上に前日・当日準備、撤収作業をお手伝い頂き有難う御座いました。そして副実行委員・実行委員メンバー・担当副会長夜遅くまで打ち合わせ、実務本当にお疲れ様でした。そして有難う。

平成21年度鳥取県中小企業青年中央会通常総会・祝賀会

副会長 水野一久



平成21年7月23日(水)、倉吉シティホテルにて「第35回通常総会・祝賀会」が開催されました。出席者は151名で内本人出席が100名、東部からは44名の会員が出席して頂きました。

総会は20年度小椋県

会長のあいさつで始まり、平成20年度事業報告及び収支決算書承認の件、平成21年度事業計画及び収支予算(案)の承認の件、任期満了に伴う新役員承認の件のすべてが満場一致で可決・承認され、21年度の山根宏典新県会長が誕生されました。新会長から「誠の理(ことわり)」という年度テーマの発表と「自らの魂に更に磨きをかけて欲しい」と力強い所信表明がされました。その後の祝賀会では各地区会長対抗のクイズゲームで各地区の結束が固められ、東中西の交流も深められ、21年度の素晴らしいスタートになったと思います。最後に、20年度小椋県会長をはじめとする県理事の皆様一年間本当にお疲れ様でした。

サポート実行委員会のお知らせ

サポート委員会 委員長 森原義博

- ①サポート：新入会員のフォローアップ等、会員相互の親睦会
新入会員研修会の実施、各種同好会の案内、ボウリング大会開催予定
- ②会員増強：100名体制の維持、脱退会員の防止
「会員増強は皆様の力が必要なんです！私達の仲間を増やしていきましょう！」
また「会員の脱退防止！」
- ③新たな「TSC4つの挑戦」の啓蒙活動
繰り返し続けていくことに意義があるC1アンケートの実施と集計

平成21年度 新入会員研修会のご案内

- 日時：平成21年10月20日(火) 18:40～食事
19:00～開会
 - 場所：パレット鳥取 Aホール
 - 出席者：新入会員研修会該当者20名、OB2名、三役7名、サポート委員会9名、事務局1名、[合計39名]
- ※新入会員研修会の該当者様へ
研修会当日は、①会員手帳
②スーツにネクタイおよびバッチ着用
③名刺
の3点をお忘れなく、よろしく願い申し上げます。

砂像

街中砂像コンテスト実行委員長 大塩憲司

皆さん、こんばんは。東部青年中央会サンド・アート・プロジェクト(TSC-SAP)リーダーの大塩です。

去る9月14日～23日まで鳥取駅前で行われました『鳥取街なか・賑わいのまちづくり実証事業』の一環として『街なか砂像フェスティバル』に参加致しました。当チームの製作テーマは『麒麟獅子』。

制作にあたり全6名のメンバーを選任させて頂き、『やるなら、とことん!』の精神の下、メンバー一丸となり毎日深夜まで作業は続きました。作業期間中は西根会長を始め多くの会員の方に差し入れや声援を頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

そうしてやっと完成した作品が、見事3位に入賞する事が出来ました！ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。

最後に、共に戦ったSAPチームの皆様、本当にお疲れ様でした。

サッカー

TSC-FC 主将 松岡秀樹

昨年度、結成したTSC-FCでは二年目の今期、西根新監督を迎え、新加入選手と共に英知・友愛・団結+体力をテーマに取り組みます!!

初戦の相手もようやく決まり、皆、気合十分で練習に励んでいます。サッカーに興味のある方、入部希望の方はいつでもお待ちしております♪



野球

ブルーマリーニズ道具係 鶴巻 順

さあみなさん、Let's Play Baseball !!

では、鳥取の野球シーンで「青い悪魔」と恐れられる、TSCブルーマリーニズのご紹介をします。2003年に創立された、歴史と伝統ある野球チーム、それがブルーマリーニズです。練習では次の日の仕事に差し支える程の地獄ノックに耐え、年々実力UP!! 選手層も厚くなり、今では平井総監督の元、西根1軍キャプテン・林2軍キャプテンを中心に活動しております。8月に行われた西部青中との対抗試合では、5-4の劇的サヨナラ勝利を収めるなど、今後の彼らの活躍から目が離せません。

そんな青春まっただ中のブルーマリーニズに参加しませんか? 野球経験は問いません。声援・ヤジ要員でも結構です。グラウンドで待ってるぜ!

「夢にときめけ! 明日にきらめけ! GO、ブルマリGO!!」



Information

●新入会員紹介
鳥取市役所/山根康子郎/資産形成委員会

●新社屋落成
有限会社 石野石材工業所/平井 義一/未来創造委員会
株式会社 カワグチ/川口 孝治/人間力形成委員会
有限会社 プロフィット/西尾 崇/人間力形成委員会
株式会社 DESTINY/村山 真人/未来創造委員会

編集後記

新年度が幕開けして早いもので、あっという間に3ヶ月が経ちました。西根年度では、テーマを「経営力を磨け」とし、ビジネスに特化した会造りを目標に掲げていますが、各委員会これからは本格的に力を入れることができる時期ではないでしょうか。1年を振り返って、忙しかったけど、得るものが多くあったなと実感できる年度にしたいものです。これからも、皆さんと素晴らしい時間を過ごし、40周年に向けてステップアップしていきましょう。

資産形成委員会 委員長 茶谷 友士